

お義母さんが
僕の友達に...



【お義母さんが僕の友達に…】

サークル名 ペンタクル
作者 しみぱん



今日から
僕の生活は一変する…







そして…



僕が
恋している女性…



それから
とても充実した毎日が
続いていた…

血の繋がりだけが
家族ではないと…
両親から教わって
いるかのようにだった



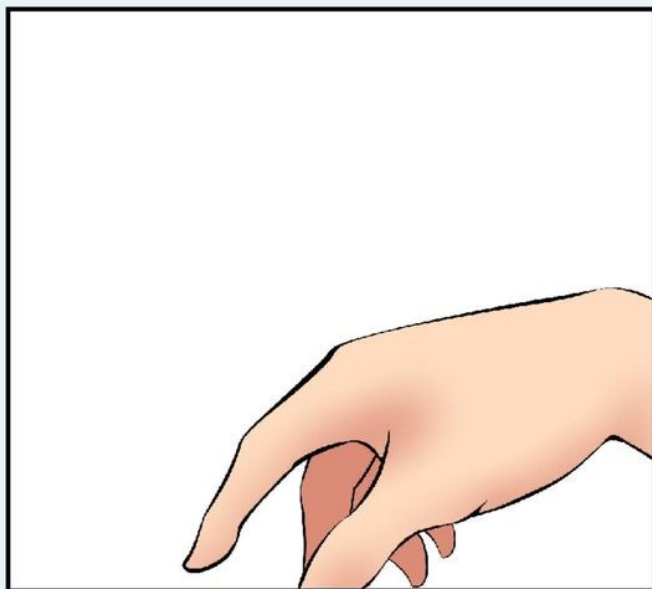
同時に…
好きな人と暮らすことが
こんなにも幸せなのかと
実感している



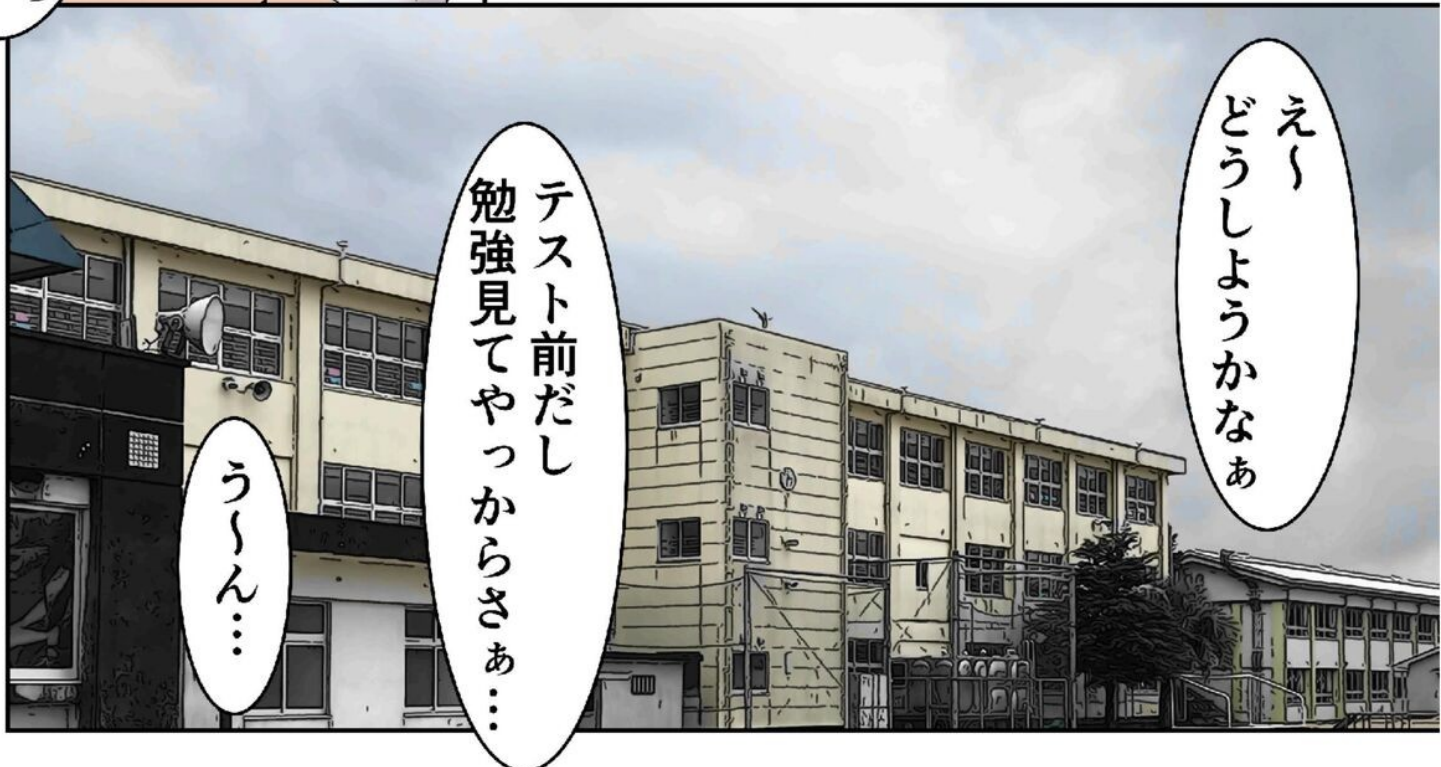
そして僕は…

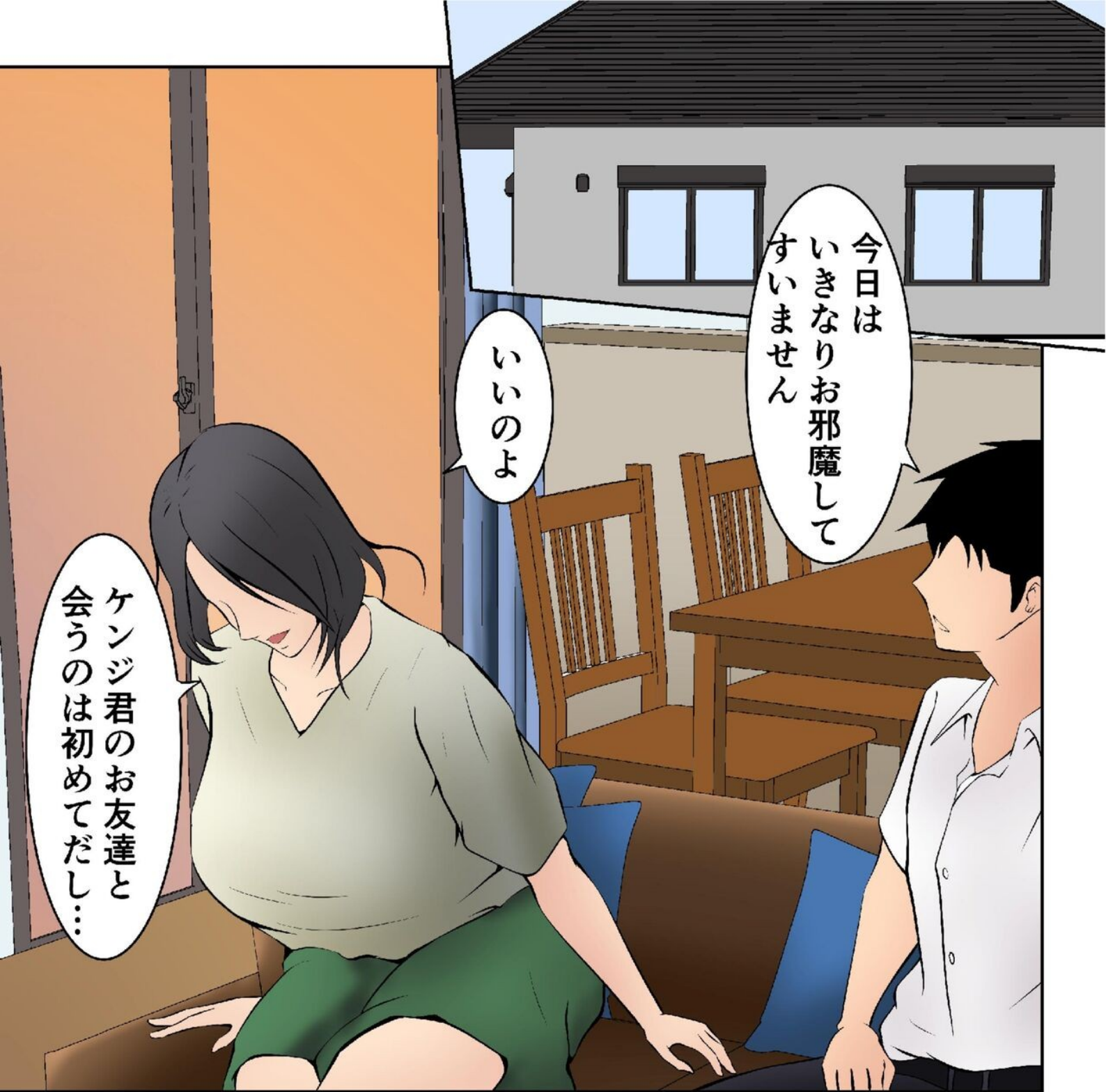
お義母さんを
好きという気持ちに
抑えが効かなくなっていた…











今日は
いきなりお邪魔して
すいません

いいのよ

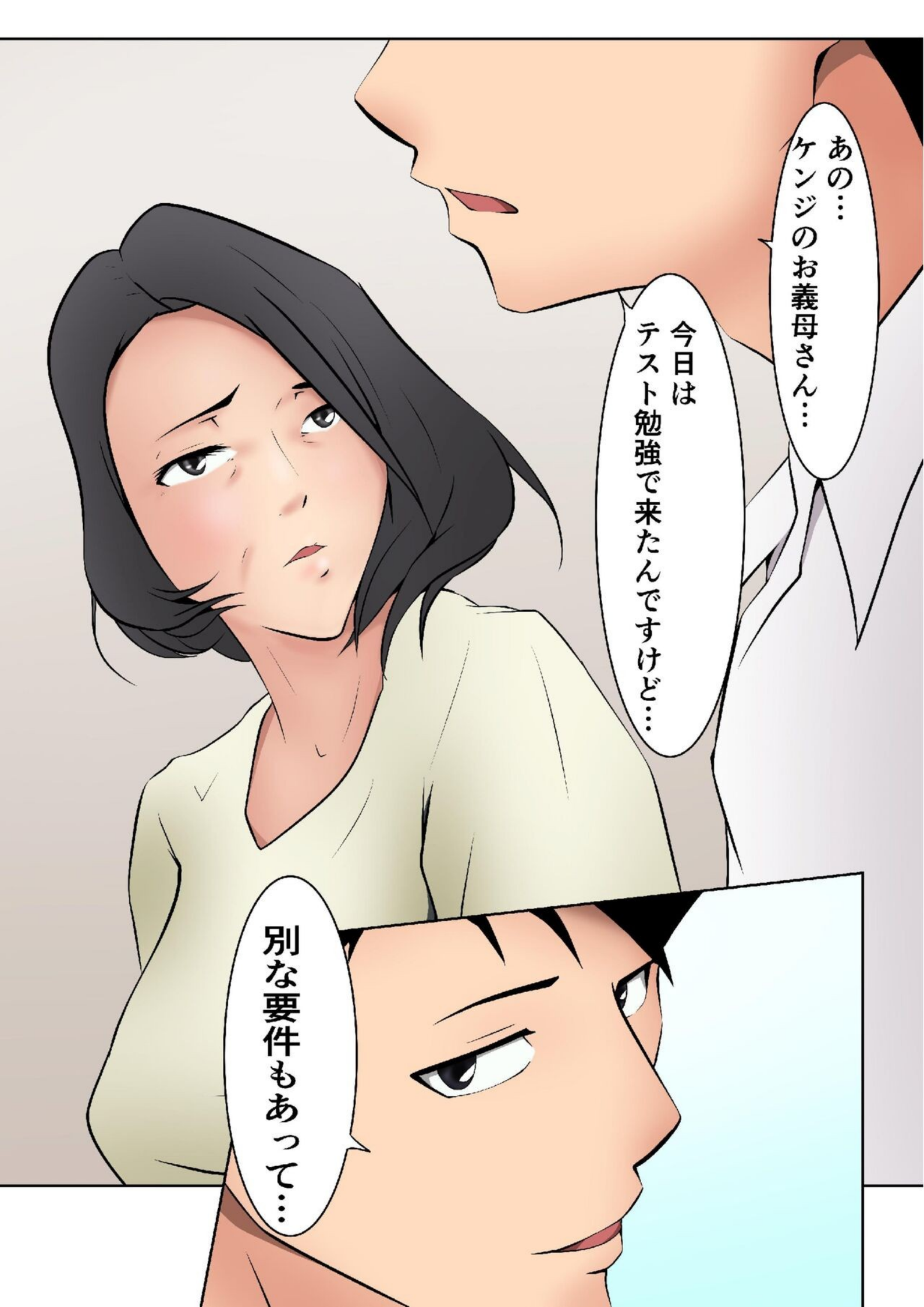
ケンジ君のお友達と
会うのは初めてだし…



なんだか
安心したわ



とても
いい子だし…



あの…
ケンジのお義母さん…

今日は
テスト勉強で来たんですけど…

別な要件もあって…

ケンジのことで
お話しがあるんです

え…

ケンジくん
学校で何かあったの？

いえ…

学校では問題ないんです

勉強は平均くらいで
友達も多いですし…

でも
あいつ…今…
悩んでいることがあって…

悩んでいること？



あいつ…
お義母さんに告白するって
言ってます

え!?



一応…
僕からも意見したんですけど
なかなか…



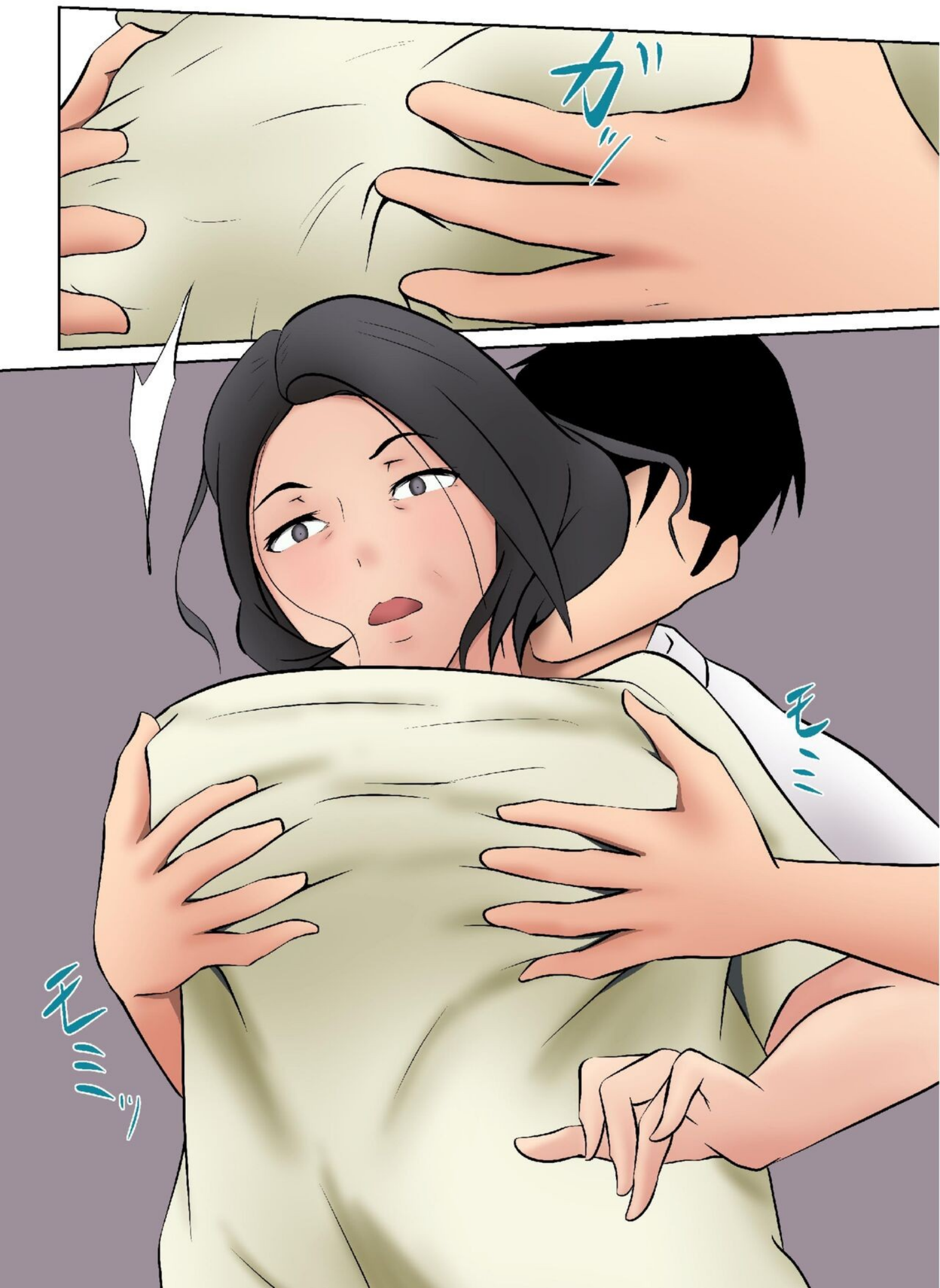
え…ええ
確かにそうよね…

ん…えっと…
どうしようかしら…
いきなりだし…

こういう風に
考えられるのも
あなたのおかげよね…

ひとつ提案があるんすよ…

1-100





ちよっと!!何してるの!!

ケンジのお義母さんのおっぱいを揉んでます

そういうことじゃなくて…



あいつ…
父親がいるってのに
気にしてないんすよね



だから
あいつに見せつけるってのは
どうかなって思ったんスよ

見せつけるって…

キヤツ!!

ガッ





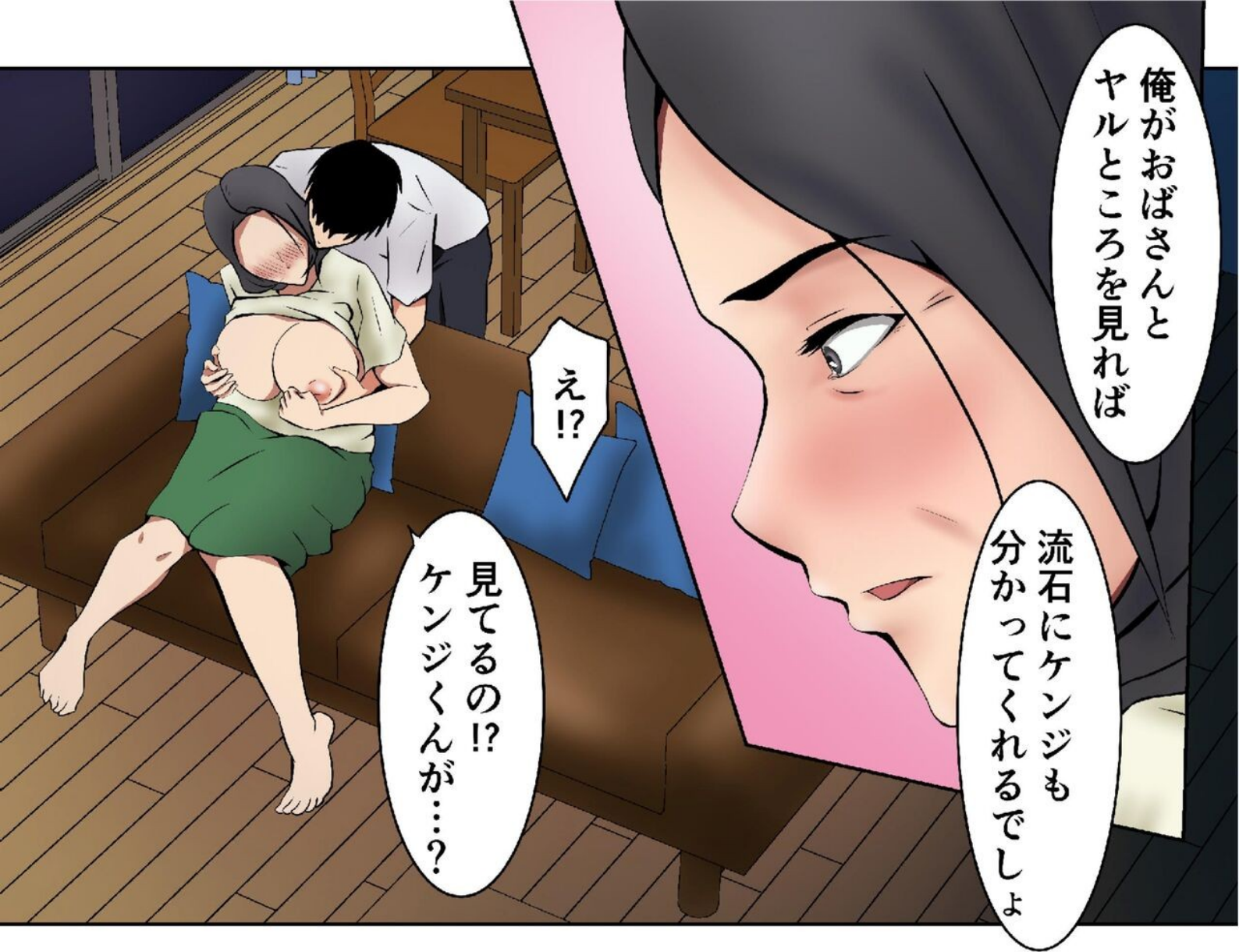
わあ…
おばさん陥没じゃん

顔に似合わず
エッチなカラダ
してるんですね

もしかして
気にしてました？

この乳首嫌いなんすか？

やめてちょうだい…



俺がおばさんと
ヤルところを見れば

流石にケンジも
分かってくれるでしょ

え!?

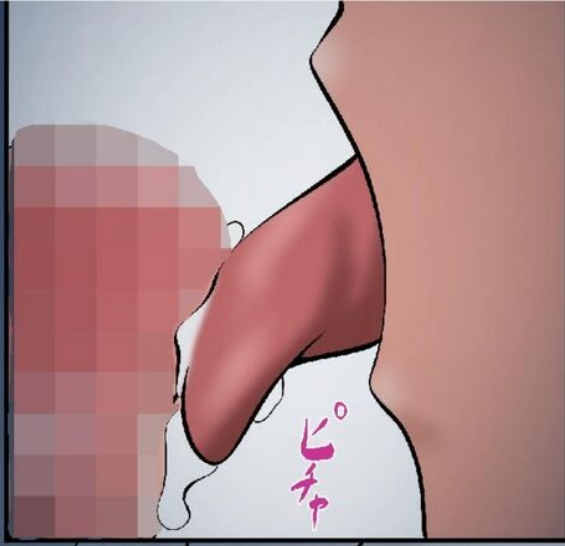
見てるの!?
ケンジくんが…?



大丈夫…

見てないですよ…

あいつ勉強中に
寝ちゃいましたから…



わあ
ヤベエ

気持ち良い…

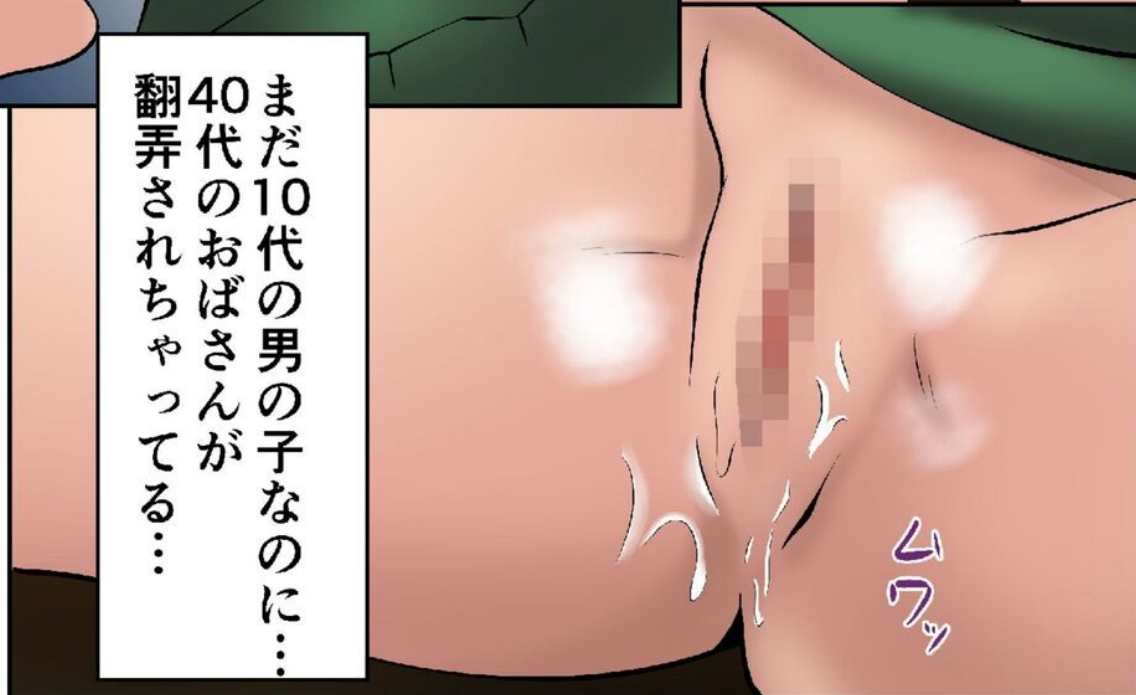
ケンジの好きな
お義母さんに
フェラしてもらってる

ケンジくんの友達に
こんなことしちゃうなんて…

ああ…
なんてことに…







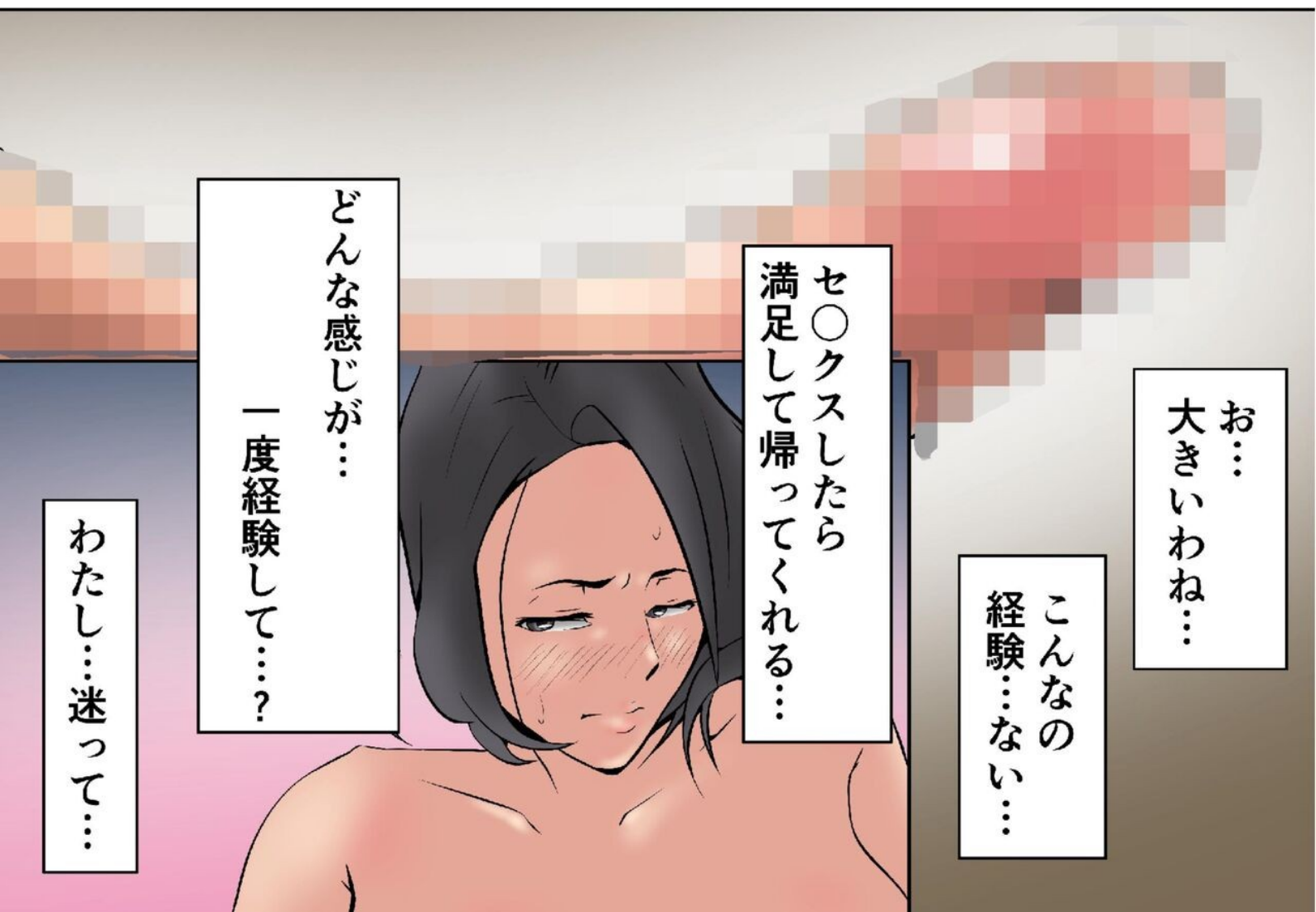
この子...
女の扱いに慣れてる感じが...

まだ10代の男の子なのに...
40代のおばさんが
翻弄されちゃってる...



入れているスカ…？

じゃあ…
ケンジのお義母さん…



どんな感じが…

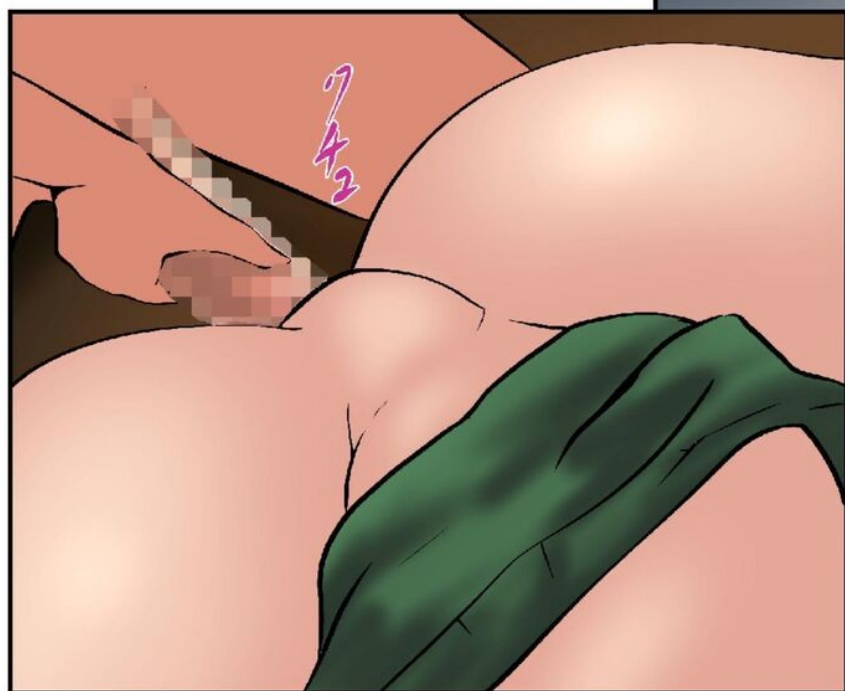
一度経験して…？

わたし…迷って…

セ○クスしたら
満足して帰ってくれる…

こんなの
経験…ない…

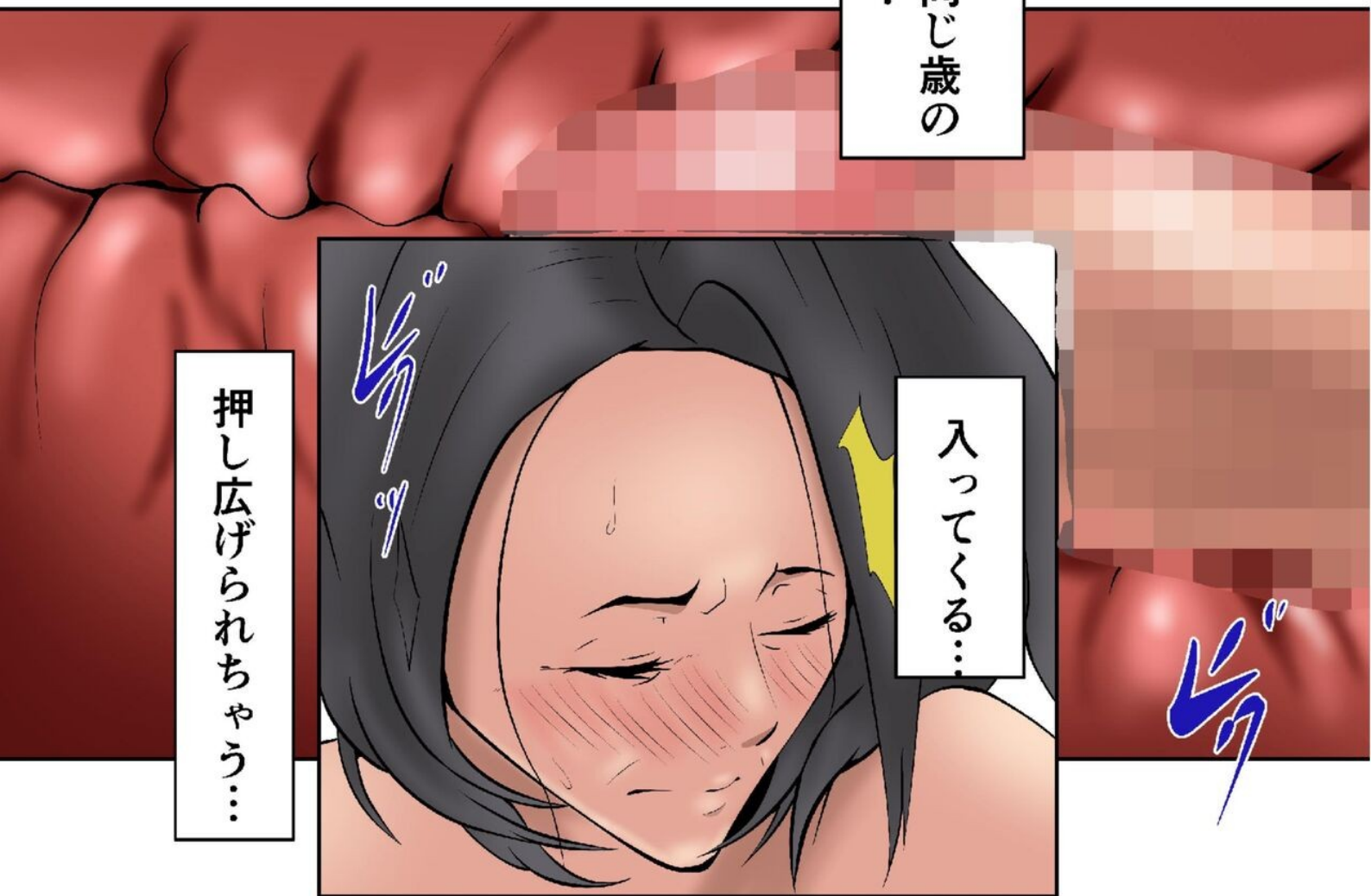
お…
大きいわね…





こんな
おばさんなのに…

ケンジくんと同じ歳の
オ○ンチンが…



入ってくる…

押し広げられちゃう…

……ッ

奥まで入ったっスねえ

キュッ

キュッ

えっ…!?

ケンジのお義母さん
締めり良いじゃないっすかあ

余ってる…?

まだ
入りきってない
部分が…





声：我慢してるんスカ？

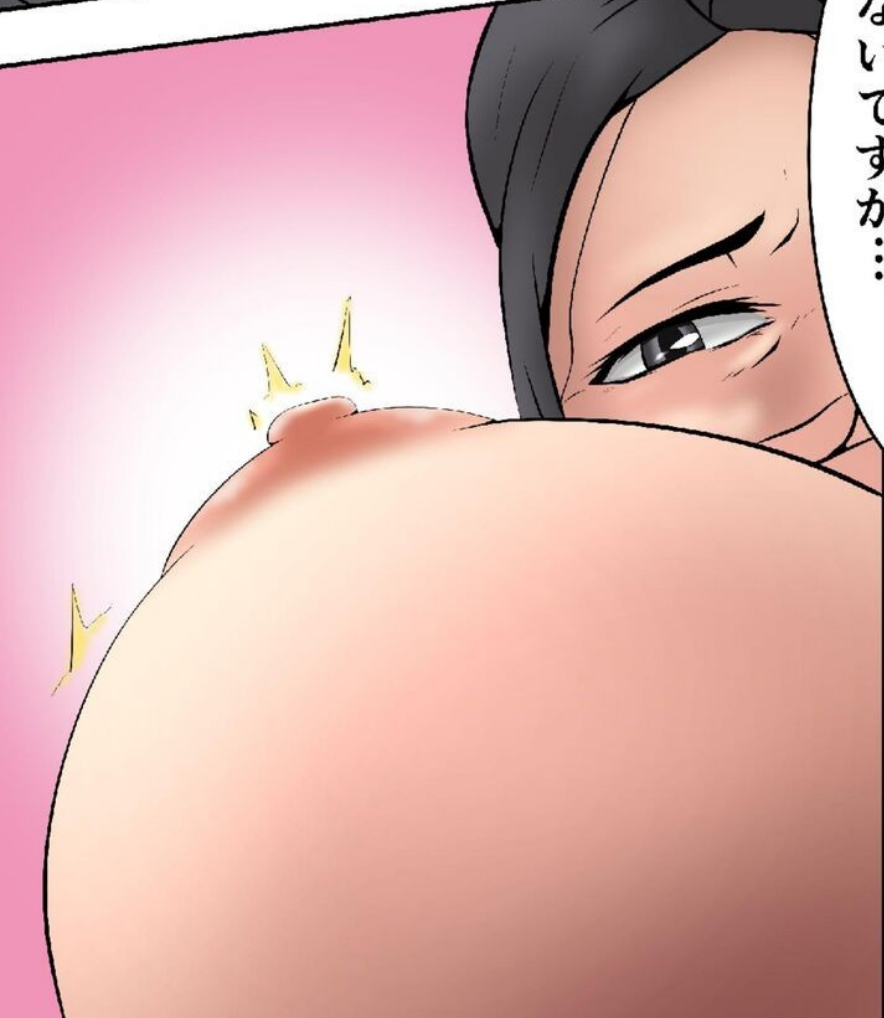
メツチャ反応良いっスね

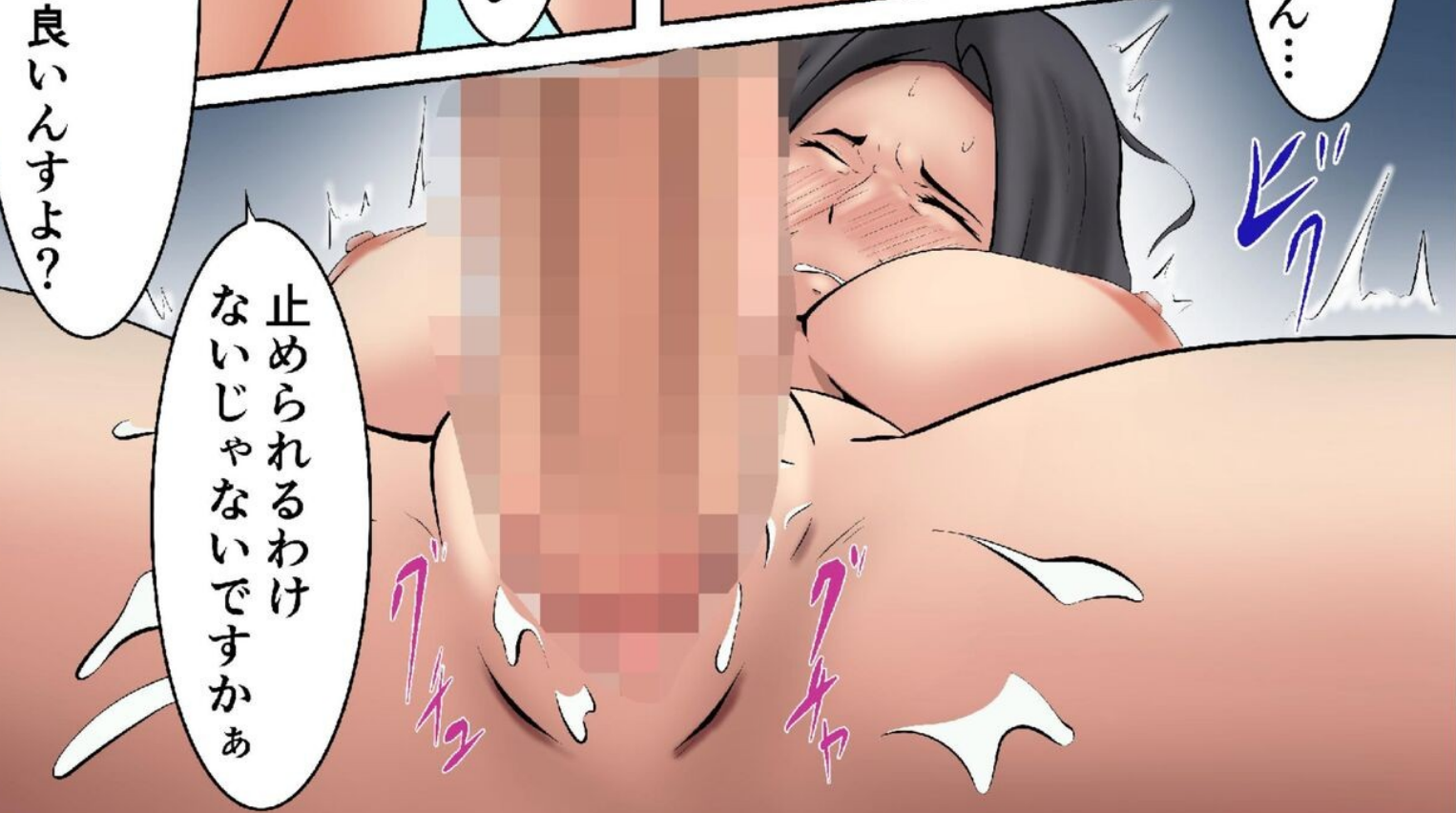
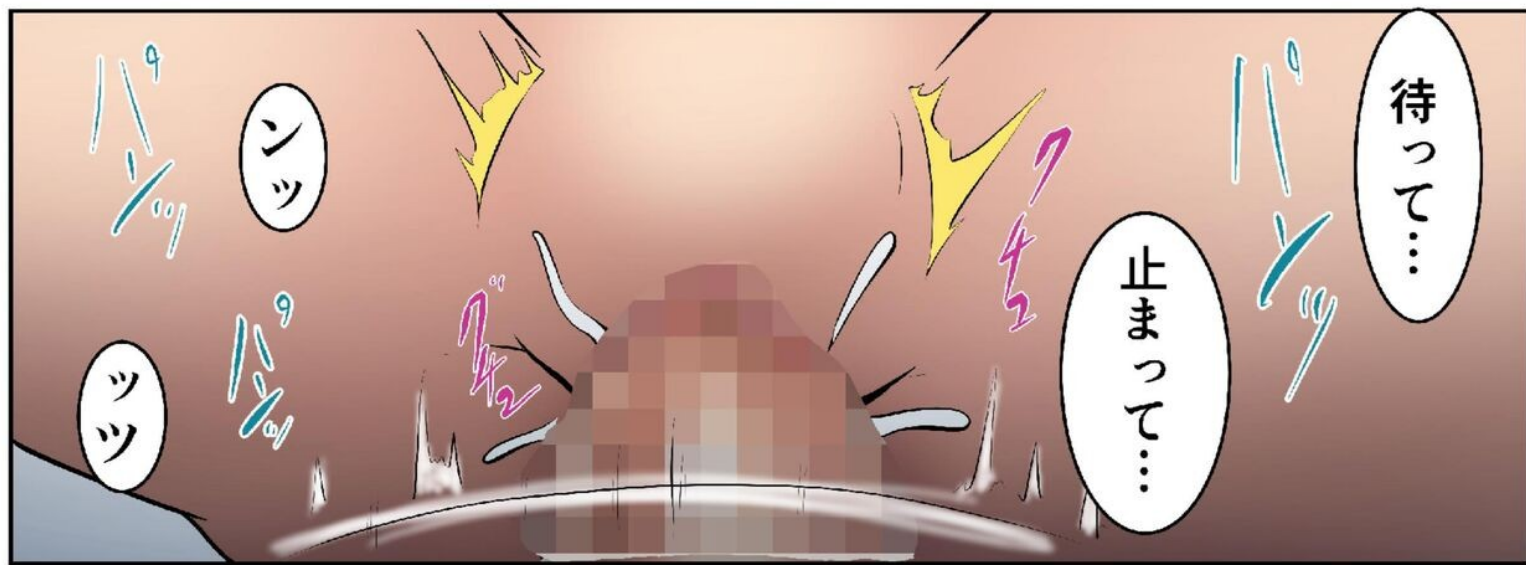
ほら：陥没してた乳首も
勃起して出てきちゃってる
じゃないですか：

感じてないフリ
しなくて良いのに：

フー

フーッ







声を出すの我慢して…

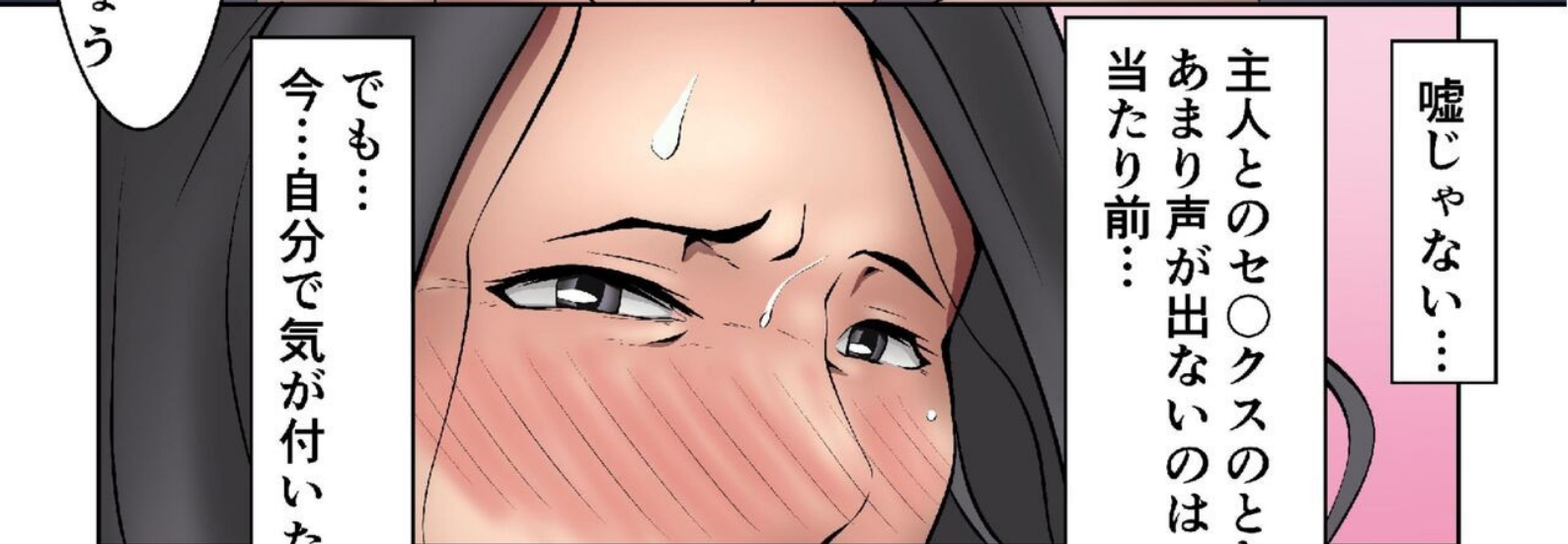
ケンジのお義母さんも
本当のところは
気持ち良いんでしょう？



もっと声出しても
良いんスよ

い…
いつもこうなんです

またまた
そんなわけないでしょう



嘘じゃない…

主人とのセ○クスするとき
あまり声が出ないのは
当たり前…

でも…
今…自分で気が付いた…

主人とのセ○クスでは
声が出なかっただけ…

でも今は…

気持ち良いよ
真由美…

私もよ
あなた…

押し上げられるたびに
息が吐き出される…

ピストンと
呼吸が連動してくる…

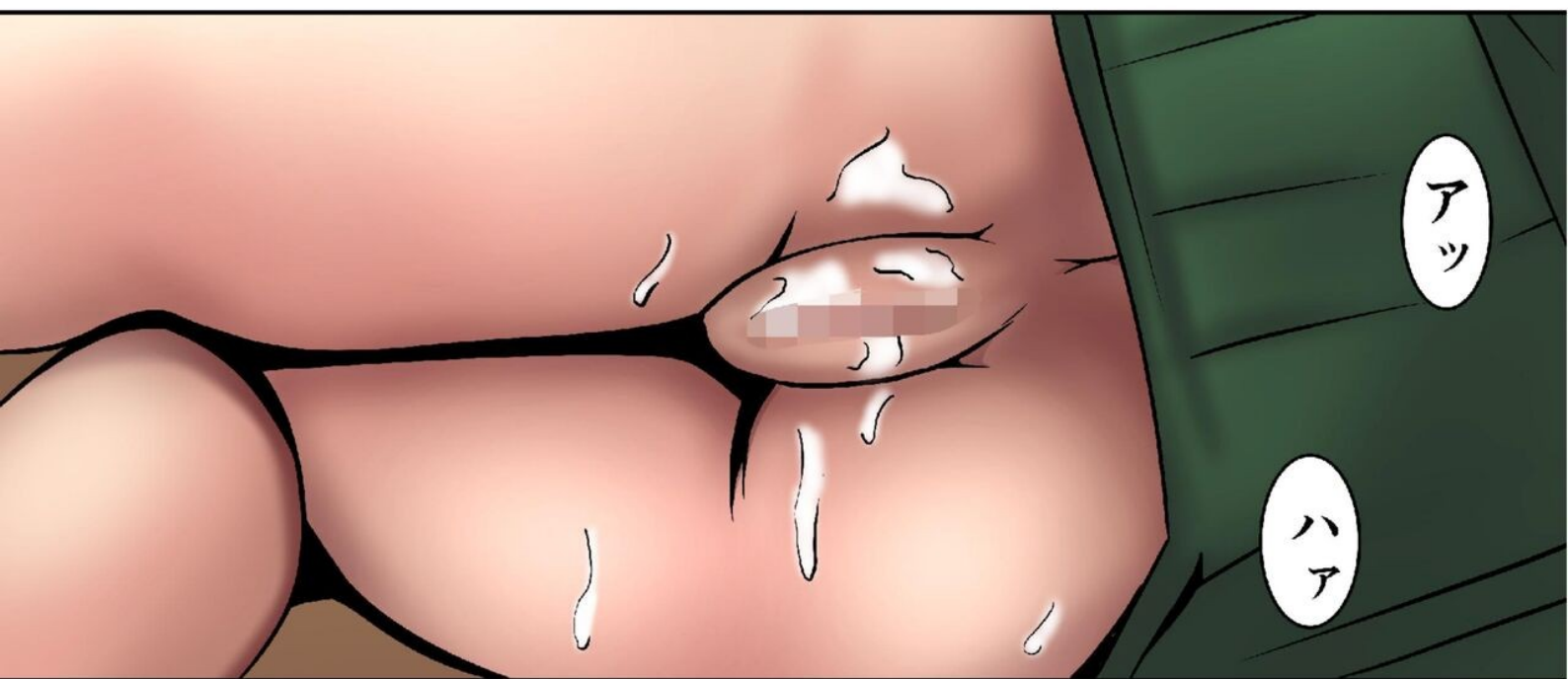
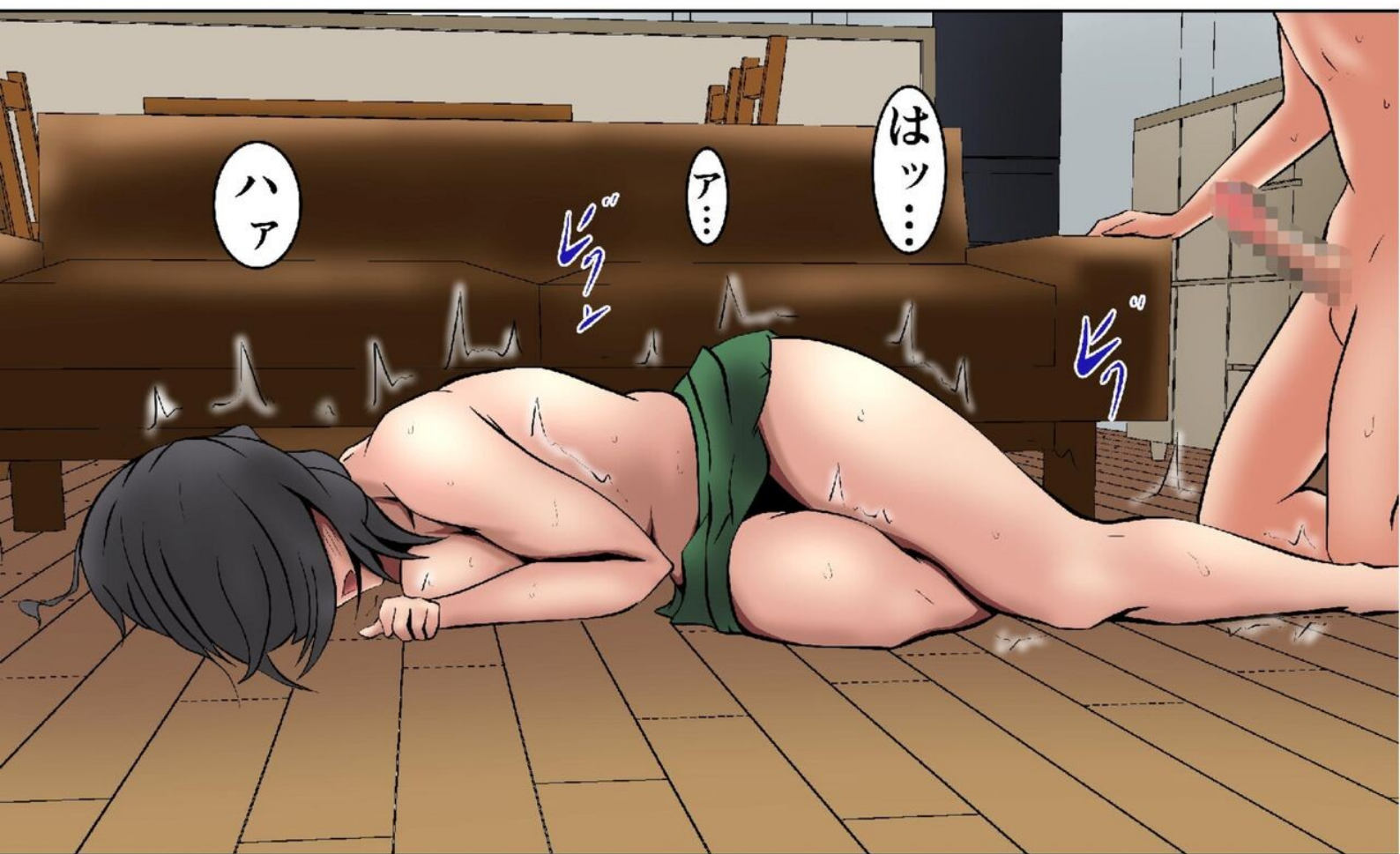
ンッ

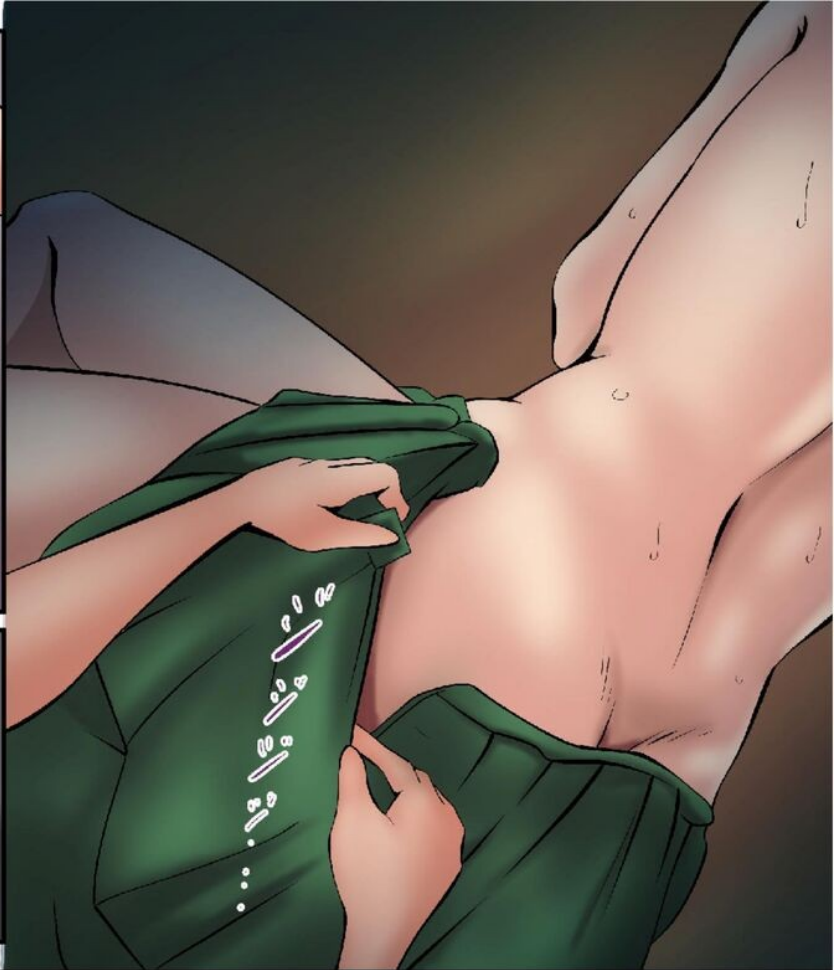
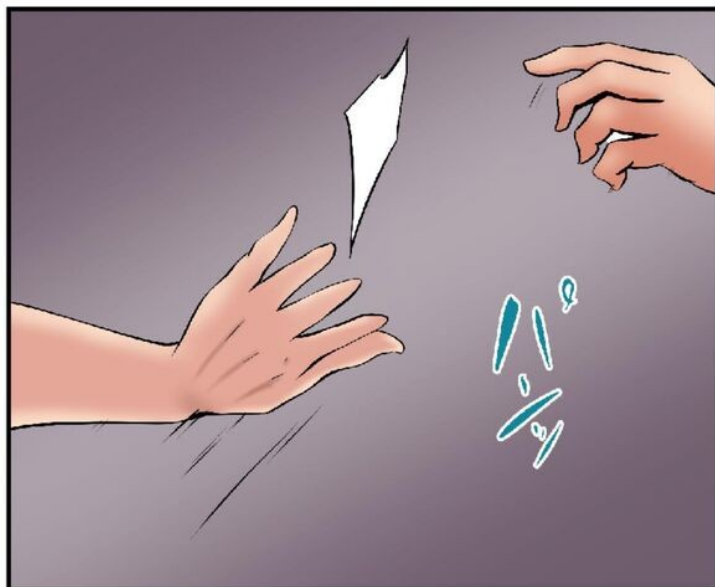
ハッ

アッ

ンッ

ンッ





じゃあ…

ケンジのお義母さん…

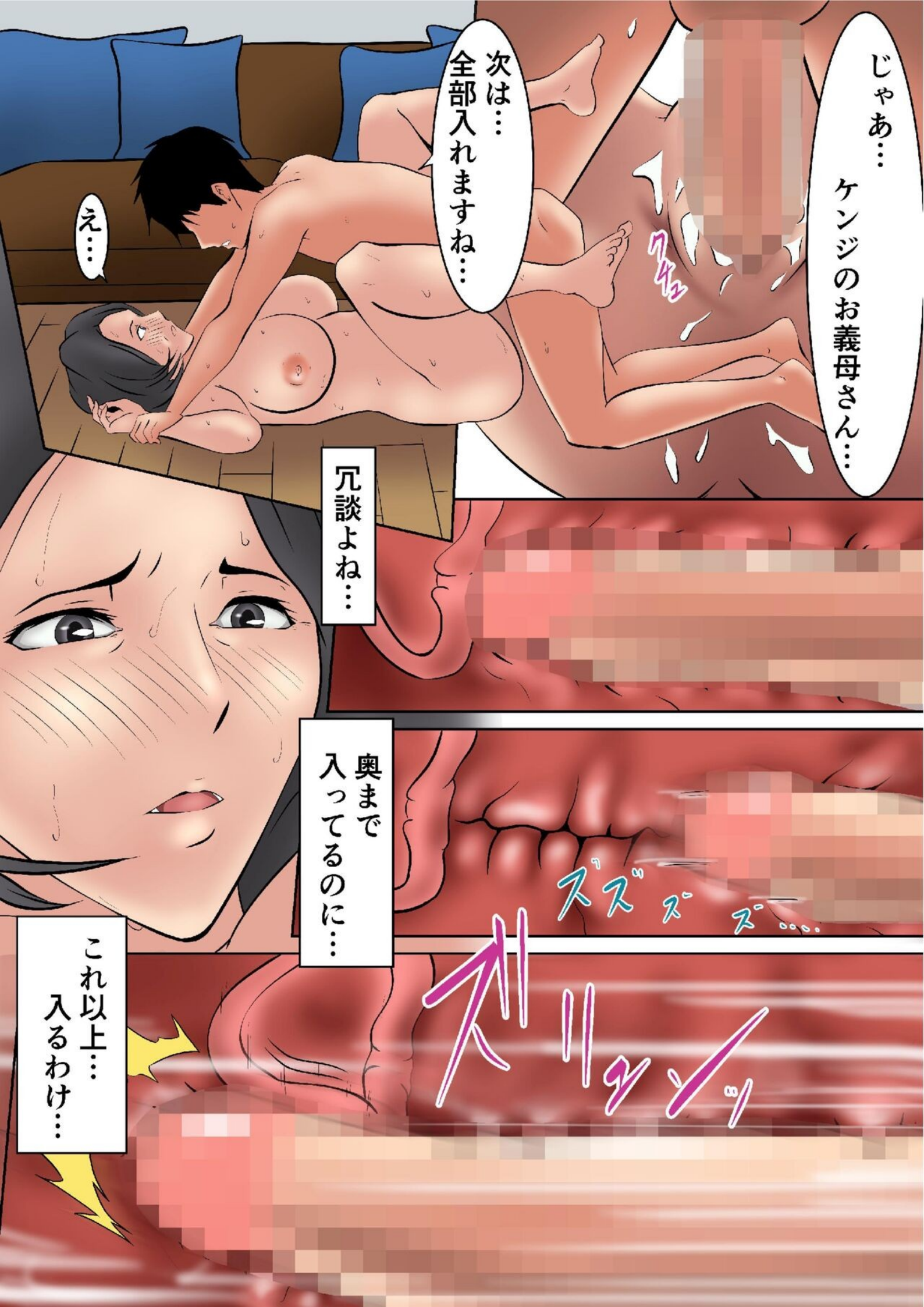
次は…
全部入れますね…

え…

冗談よね…

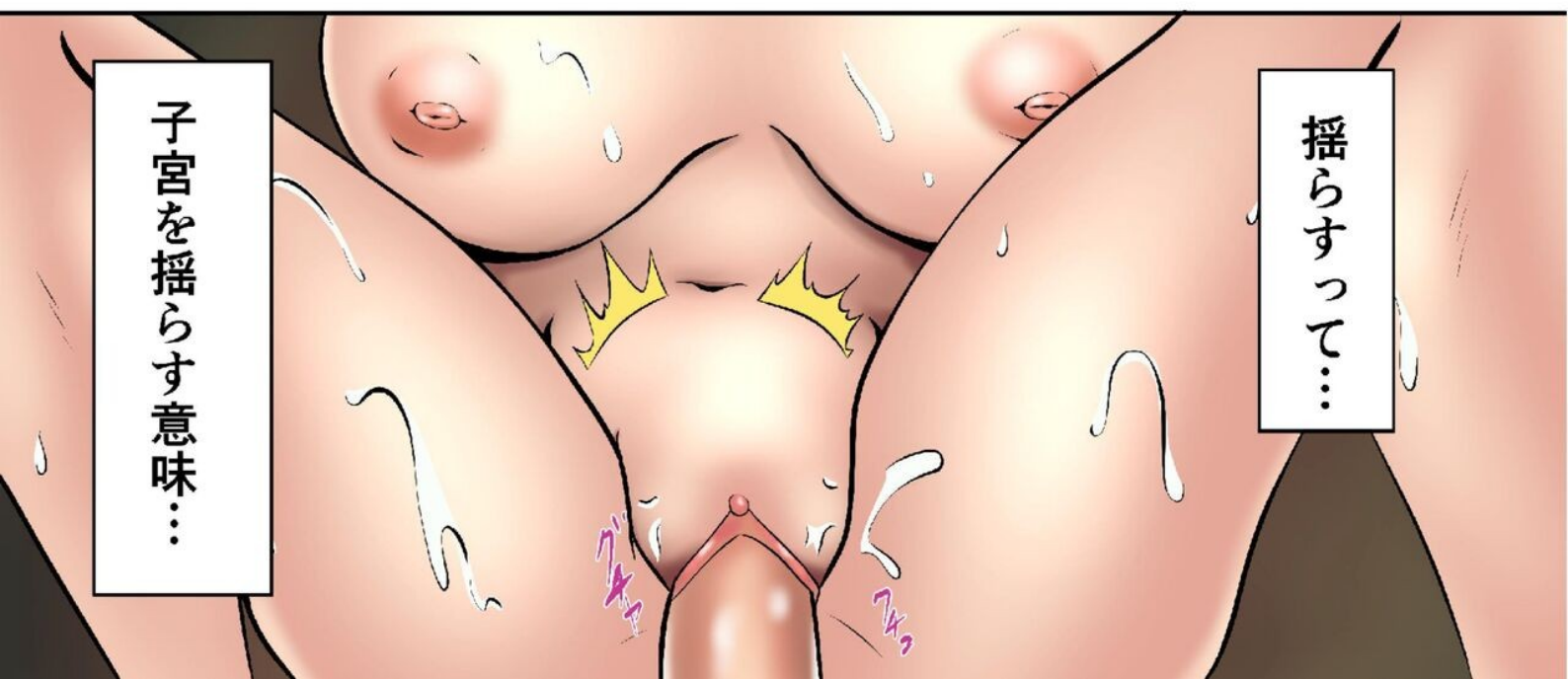
奥まで
入ってるのに…

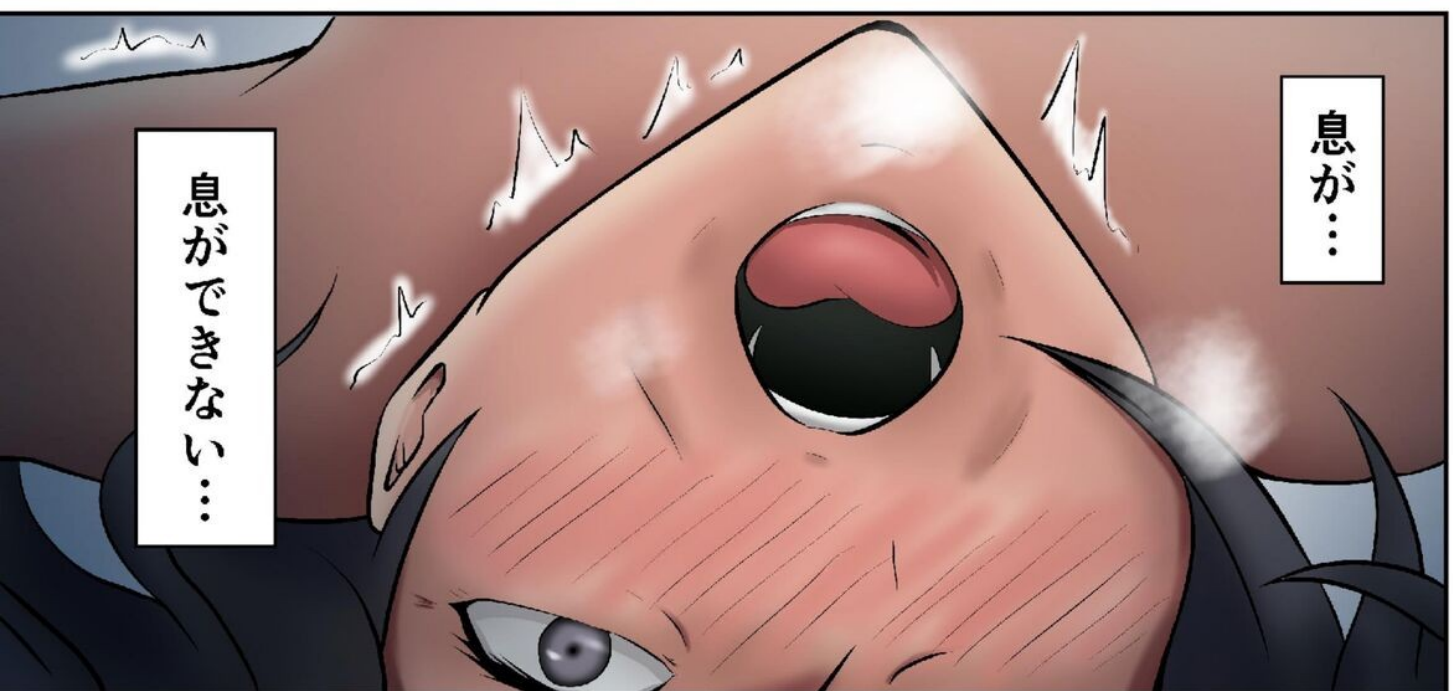
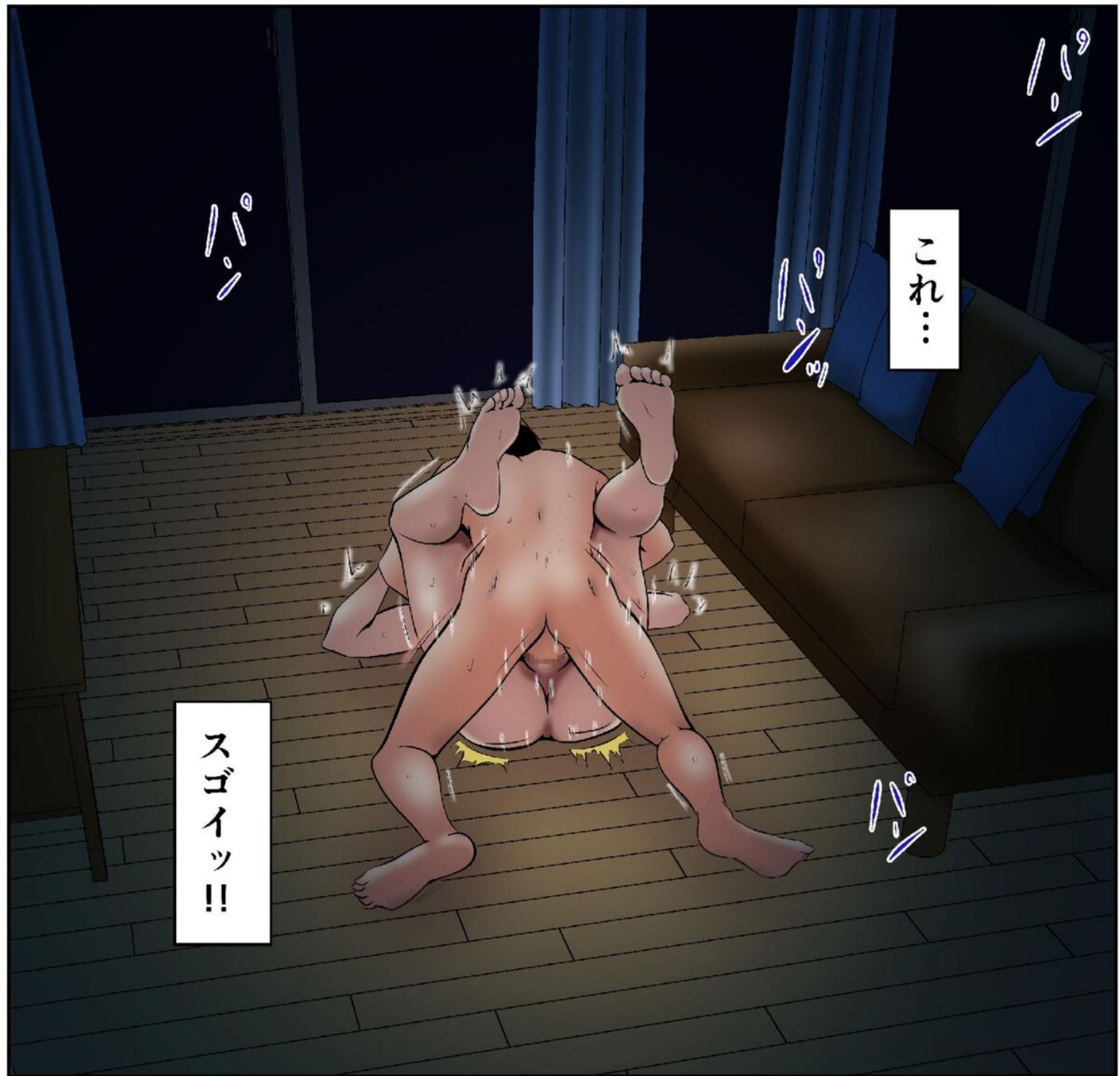
これ以上…
入るわけ…





あの時…







いやあ…

全部入ると
また違いますね

ヤメ…

突かれるたび…

息が…
押し出される…

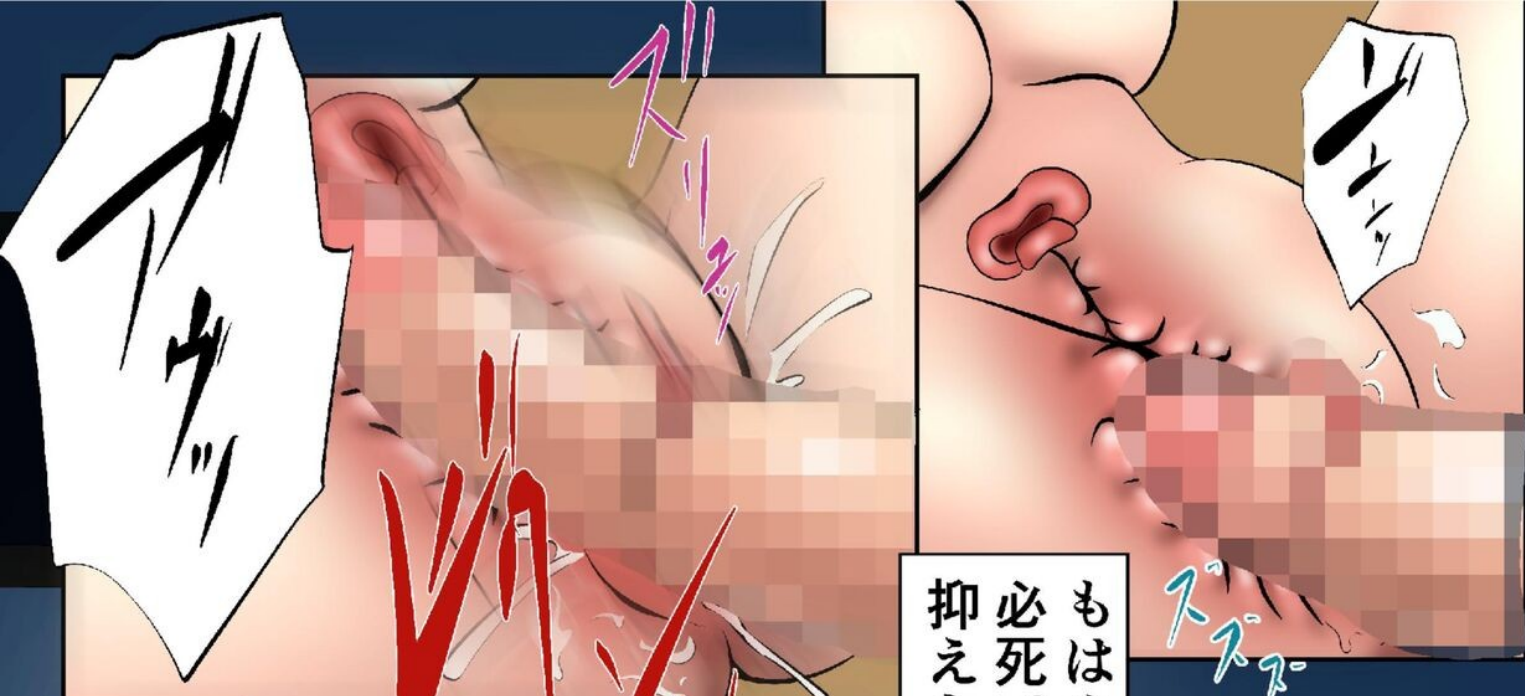


待つ…

止まって…

ちよつと止めるのは
無理っスねえ…w

呼吸するタイミングが
見つからない…



もはや：
必死で我慢していた声も：
抑えられなくなっていた：

それを分かってるから
なのか：

掴んでいた手も：
いつの間にか
緩んでいた：



ケンジのお義母さん…
さつきよりも
気持ち良いっしょ？

イヤなら辞めるっすけど…

どうですか？

お義母さ〜ん…

ああダメだ…

聞こえてない
みたいっすね…

気を抜いたら
意識が持っていかれちゃう…

色んな角度から
子宮を叩いてくる…

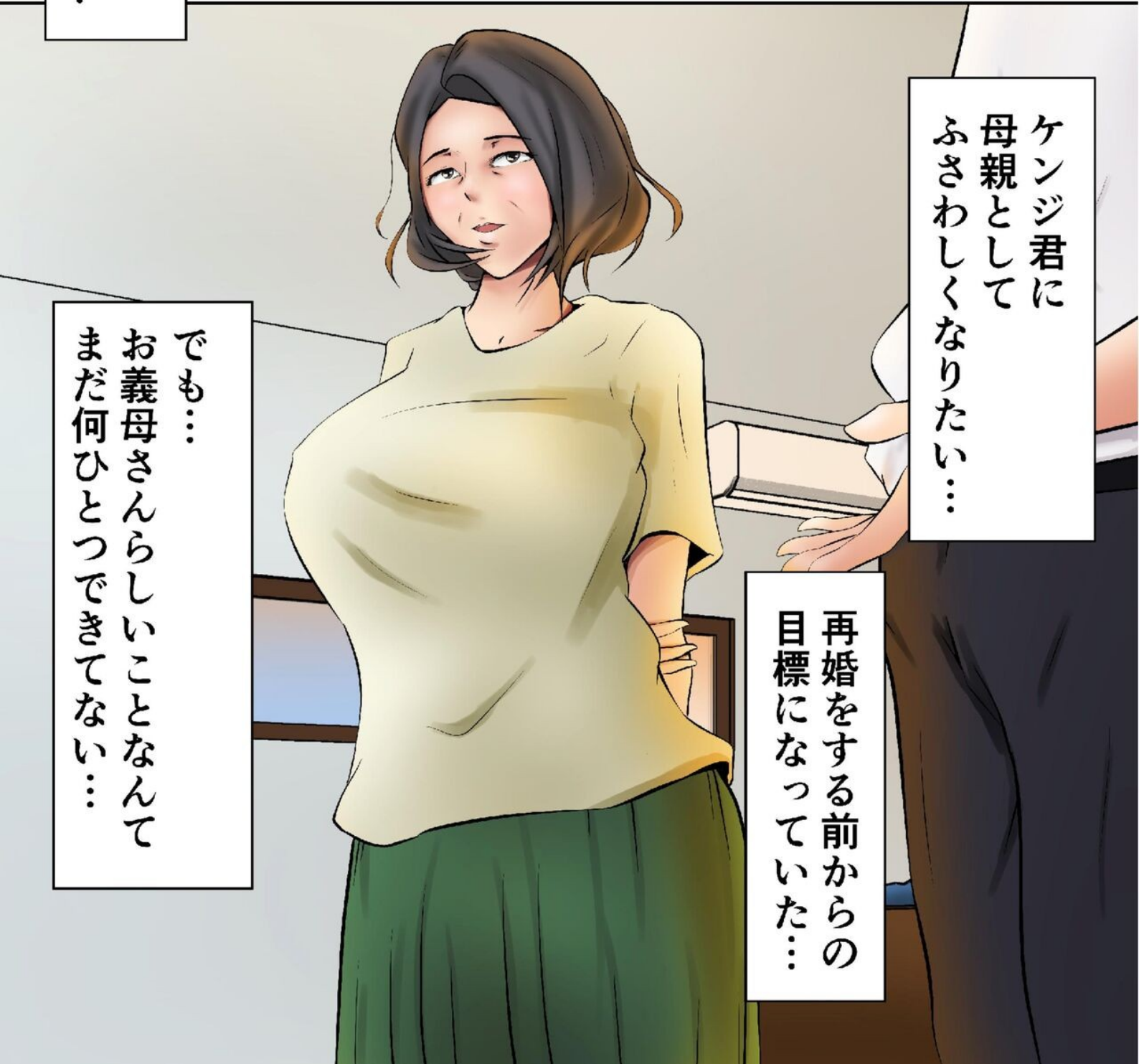
突かれるたび…
オ○ンチンが向きを変えて
飛び込んで来る…

まるで生き物が
わたしの中で
暴れてるかのよう…

A man with black hair, wearing a white short-sleeved shirt and dark trousers, stands with his back to the viewer, leaning against a wooden dining table. He has his right hand behind his head. A woman with dark hair, wearing a light green short-sleeved top and a dark green skirt, stands to the left of the table, looking towards the man. The background shows a kitchen with a window and a stove.

僕
の
大
切
な
友
達
な
ん
だ

数時間前まで
そんな話をしていた…

A close-up of the woman from the previous panel. She is looking slightly to her right with a thoughtful expression. Her hands are on her hips. The background is a plain wall.

ケンジ君に
母親として
ふさわしくなりたい…

再婚をする前からの
目標になっていた…

でも…
お義母さんらしいことなんて
まだ何ひとつできてない…

それなのに
お義母さん…

ケンジ君の
大切な友達と…
セ○クスしてる…

ケンジ君の友達に…



快樂を与えられちゃってる…



ハア

ハア

そんな…

こと…ない…っ

今はもう
すっかり
素直になりましたね…

最初は嫌々でしたけど…

頭の中は…
もう…真っ白…

こんなの…

続けられたら…
イッちゃう…

やめてもらわなきゃ…



ああ…でも…

一度イッてしまった方が
冷静になれるかも…

そう…

一度イッて…

冷静に…

冷静になるために…



今は
思いっきり
イッちゃおう…

バツ

バツ



ああ…

この感じ…

イクなんて
どれくらいぶりかしら…

イク…
イクイクイクツ

イッちゃ…





!!





ケ...



ケンジ君...

ケンジ君が…

ケンジ君が見てる…

危な…かった…？

ケンジ君に
見られてるのに…

わたし…
イッちゃおうとしてた…

ちよ…
ちよ…と待って…



イキたい…

けど…

ケンジ君の前で
イクのは…

ダメ…

ダメよ…今は…

ケンジ君の
見てる前でイクなんて…



お義母さん
イキそうなんでしょ？

イッていいですよ

イキそうだけど
ダメになったの…

ケンジ君が見てることに
気付いてないの!?

え!?

このまま

中に出しちゃおっかなあ

だっ…
ダメよ!!

えー
どうしよっかなあ

じゃあ…

「中に出さないでください

お願いします」

って言ってもらえます？

一度も
言ったことのない言葉…

見られてるだけで
恥ずかしいのに…

そんな下品なセリフ…
見られてるのに
言うわけ…



どうしたんスカ？

言わないんですか？

本当に中で
射精しちゃいますよ！

こんな…
ケンジ君と同じ歳の子に
もて遊ばれなんて…



こんな状況で…

精一杯考えても…
良い答えが見つからない…



せめて…

うまく…
切り抜ける方法が
見つからない…



ケンジ君に…
見られていなければ…





イヤイヤ…
なんにをいままさち…

抜いて…

それより
ちゃんとお願
い
してくださ
い

ああ出る…

イヤッ!!
外に…

ダメダメ…
ちゃんと言わなきや

.....

え？
なんスか？

中に…出さないで…

中に出さないでください…



残念ッW

時間切れ〜♪

ダメ

イヤッ

中に出さないでくださいッ!!

お願いしますッ!!





ケンジ君…

ごめんなさい…

お義母さん…

あなたの
大切な友達と
セ○クスしちゃった…







これで
終わると思えない…

この子のと…
ケンジくんの問題を
どうにかしなきゃ…

